

国際森林デー
森林総合研究所シンポジウム



参加
無料

COP21 パリ協定が求める 森林のすがた

日
時

平成 28 年
3月18日(金)
13時30分～17時00分

場
所

早稲田大学小野記念講堂

地下鉄東西線早稲田駅から徒歩 5 分
都電荒川線早稲田駅から徒歩 6 分

来賓挨拶

沖修司（林野庁次長）

講演話題提供

松本光朗

（国立研究開発法人 森林総合研究所 研究コーディネータ）

五関一博（JICA 地球環境部 技術審議役）

天野正博（早稲田大学人間科学学術院 教授）

恒次祐子（森林総合研究所 主任研究員）

高橋伸英（信州大学大学院 教授）

パネルディスカッション

主催：国立研究開発法人 森林総合研究所
早稲田大学環境総合研究センター

後援：林野庁

申込み先 idf2016@ffpri.affrc.go.jp まで。
お名前、所属、連絡先（e-mailアドレス）をお知らせください。

当日参加も可能です。
会場でスタッフのお手伝いが必要な方はお知らせください。
問い合わせ先 idf2016@ffpri.affrc.go.jp まで、お問い合わせください。

COP21 パリ協定が求める 森林のすがた

日
時

平成 28 年
3月18日(金)
13時30分～17時00分

場
所

早稲田大学小野記念講堂
(東京都新宿区戸塚町 1-103)

COP21 において、全ての国が参加する新たな温暖化対策の枠組みが合意されました。この合意（パリ協定）では、世界の温度上昇を2℃未満（努力目標を 1.5℃未満）とするとともに、今世紀後半で温室効果ガスの排出と吸収を均衡させることを目標として掲げました。また、森林の重要性を強調し、森林減少・劣化からの排出の削減等（REDD+）についても明記するなど、森林への大きな期待が表れています。このシンポジウムでは、パリ協定を読み解くことにより、世界が森林に何を求めているか、そして何を行うべきか、長期的な視点から議論したいと思います。

プログラム：

1. 開会、主催者挨拶
2. 来賓挨拶
林野庁次長 沖修司
3. パリ協定の中の森林
森林総合研究所
研究コーディネータ 松本光朗
4. パリ協定を踏まえた、森林・自然環境分野の
JICA の途上国気候変動対策支援の展望
JICA 地球環境部 技術審議役 五関一博
5. REDD+ への現状そして展望
早稲田大学人間科学学術院 教授 天野正博
6. 木材利用は CO2 排出削減にどのくらい貢献できるか？
森林総合研究所 主任研究員 恒次祐子
7. BECCS（バイオマスエネルギー+CO2 回収貯留）の可能性
信州大学大学院 教授 高橋伸英
8. パネルディスカッション